

「第8回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」調印プロジェクト文書交換式に参加
～カーバイド炉からの熔融カーバイドの流し出し技術の中国への技術協力および技術許諾～

電気化学工業株式会社（以下、当社）と中国／中化国際（控股）股份有限公司（以下、中化国際）は、2014年12月28日、中国北京市内で開催された「第8回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」（主催：経済産業省、日中経済協会、中国国家発展・改革委員会、他）に参加し、調印プロジェクト文書交換式において、日中間の協力プロジェクトとして、「カーバイド炉からの熔融カーバイドの流し出し技術の中国への技術協力および技術許諾」を両社間で締結したことを披露いたしました。

中国における塩化ビニル樹脂の生産は、カーバイド法アセチレンを原料とする製法が大半であり、生産量拡大に伴ってカーバイドの生産も増加し、生産設備の近代化が積極的に進められています。しかしながら、カーバイド炉から2000℃以上に熔融したカーバイドを流し出す作業は、依然として高熱環境下において、人力によって行われている状況にあります。

当社は1915年より100年に亘るカーバイド生産の中で、永年の保安・安全技術を蓄積しており、この危険でかつ作業への負荷の大きい流し出し作業についても、世界に先駆けて機械化を図り、RTM (Remote Tapping Manipulator) による遠隔操作を実用化しております。本技術の導入により、作業環境における本質的な安全が図れるだけでなく、省力化、省エネルギーにも資するため、中国カーバイドメーカーへ広く普及することが期待されています。当社と中化国際は、技術協力および技術許諾の契約を締結するとともに、中化国際は中国のカーバイドメーカーとサブライセンス契約を結び、技術移転と普及を進めています。

なお、当社と中化国際は、2012年8月に開催された「第7回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」においても、当社が開発した水資源保護と省エネルギーに資する環境技術である「乾式アセチレン発生技術」の技術許諾契約締結と技術移転を発表しております。

当社は、日本のカーバイド化学のパイオニアとして培った保安技術、環境技術、省エネ・省力化技術を通じて、中国の皆様とのさらなる発展関係を築くとともに、働く人々の安全と地球環境保全に積極的に貢献することにより、今後も、信頼されるものづくり企業としての社会的責任を果たしてまいります。



第8回日中省エネ・環境総合フォーラム
会場：中国北京市 遼寧大廈



調印プロジェクト文書交換式
後列右より、中国国家発展・改革委員会 解副主任、高木経済産業副大臣
前列右より中化国際 瞿総経理助理、当社 渡辺専務